

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和8年7月 解析分)

1 今月のトピックス

「夏かぜ」に注意！

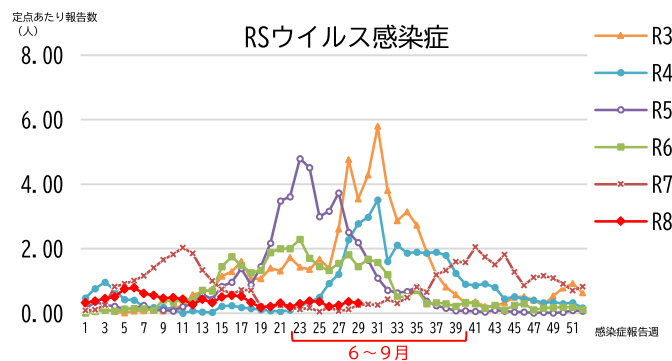
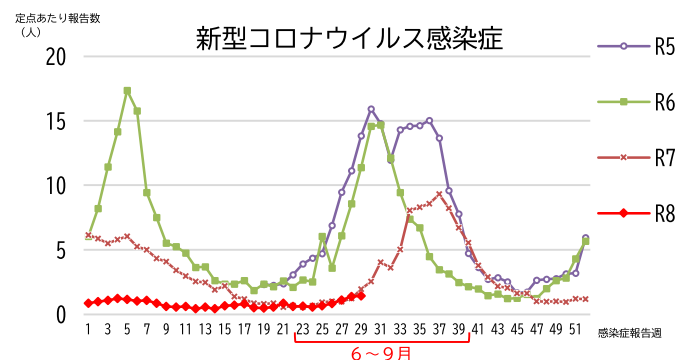
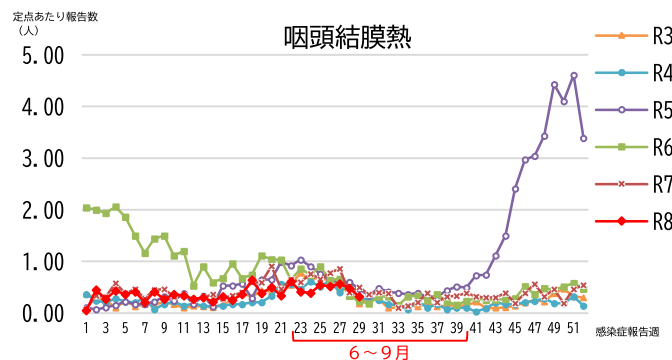
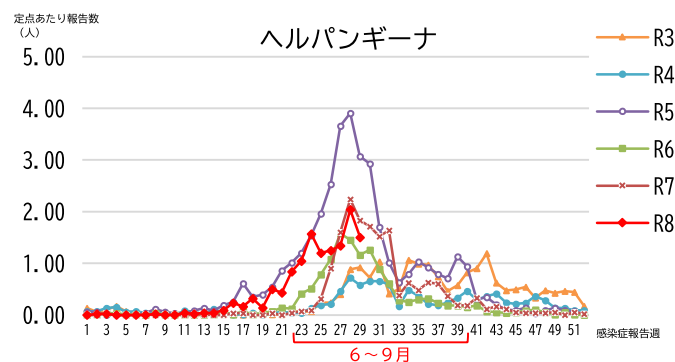
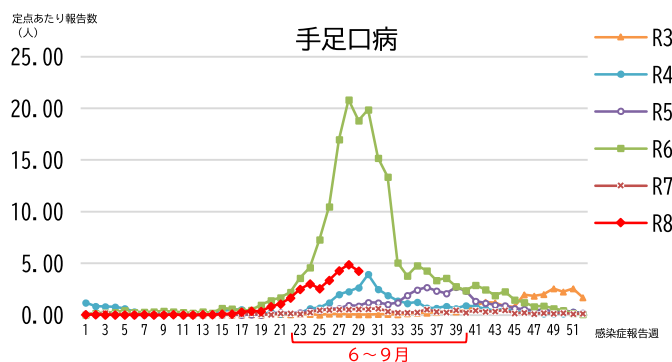
広島県 手足口病警報 検索

■ 夏かぜとは？

夏かぜには、「手足口病」「ヘルパンギーナ」「咽頭結膜熱」等が含まれると言われており、近年「新型コロナウイルス感染症」や「RSウイルス感染症」も夏に増加傾向が見られます。これから秋にかけて流行する可能性があります。引き続き注意が必要です。

なお、手足口病については、第22週（5月25日～5月31日）に福山市保健所管内で定点医療機関からの報告患者数が警報開始基準値（定点当たり5）を上回ったため、6月4日に警報を全県に発令し、現在も警報継続中です！

いずれの感染症も、手洗い、うがいの励行や換気など、基本的な感染対策が重要です。発熱やせきなどの症状がある場合は、無理せずに医療機関を受診しましょう。



広島県感染症・疾病管理センター
(ひろしま CDC) ホームページ
定点把握感染症（五類）の発生状況



広島県感染症・疾病管理センター
(ひろしま CDC) ホームページ
「手足口病警報」を発令しています

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年6月分(令和8年6月1日～令和8年7月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	19,555	42.05	-	↗	11	突発性発しん	54	0.19	0.30	→
2	インフルエンザ ※3	21	0.05	0.35	↘	12	ヘルパンギーナ	358	1.28	0.68	↑
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	351	0.75	-	↗	13	流行性耳下腺炎	11	0.04	0.08	↑
4	RSウイルス感染症	84	0.30	1.52	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	咽頭結膜熱	136	0.49	0.72	→	15	流行性角結膜炎	25	0.26	0.61	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	725	2.59	1.87	→	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	1,121	4.00	4.93	→	17	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
8	水痘	66	0.24	0.11	↗	18	マイコプラズマ肺炎	31	0.31	0.17	↗
9	手足口病	877	3.13	1.60	↑	19	クラミジア肺炎 ※4	1	0.01	0.00	
10	伝染性紅斑	17	0.06	0.40	↓	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.03	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年6月分(6月1日～6月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	59	2.68	2.96	→	25	淋菌感染症	25	1.14	1.08	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	21	0.95	0.87	↗	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	55	2.75	3.30	↘
23	尖圭コンジローマ	20	0.91	0.67	↗	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.13	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 「薬剤耐性緑膿菌感染症」は、2026.4.6から「多剤耐性緑膿菌感染症」に名称変更され、また、全数報告に変更されましたので5月からは月報対象外になりました。

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)			
○急増疾患	手足口病	(0.96 → 3.13)	
	ヘルパンギーナ	(0.48 → 1.28)	
	流行性耳下腺炎	(0.01 → 0.04)	
○急減疾患	伝染性紅斑	(0.15 → 0.06)	

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内154の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾患No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	56	19	22	20	154

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	30	結核(30)〔西部保健所(2)、西部東保健所(2)、東部保健所(6)、広島市保健所(10)、呉市保健所(3)、福山市保健所(7)〕
三類	15	腸管出血性大腸菌感染症(15)〔西部保健所(2)、東部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(2)、福山市保健所(3)〕
四類	13	E型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕 レジオネラ症(4)〔東部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)〔東部保健所(1)〕 日本紅斑熱(7)〔西部保健所(1)、東部保健所(4)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕
五類	26	アメーバ赤痢(1)〔西部保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔西部保健所(1)〕 多剤耐性緑膿菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕 梅毒(8)〔広島市保健所(7)、呉市保健所(1)〕 百日咳(9)〔西部東保健所(1)、広島市保健所(3)、福山市保健所(5)〕 麻疹(2)〔広島市保健所(2)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2026年6月30日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	25	41	31	40	34	30							201
	小 計	25	41	31	40	34	30	0	0	0	0	0	0	201
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0							0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0							0
	腸管出血性大腸菌感染症	17	6	5	14	8	15							65
	腸チフス	0	0	0	0	0	0							0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0							0
	小 計	17	6	5	14	8	15	0	0	0	0	0	0	65
四類	E型肝炎	1	0	1	3	0	1							6
	A型肝炎	1	0	0	0	0	0							1
	エムボックス	0	0	0	0	0	0							0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0							0
	デング熱	0	0	0	0	0	0							0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	2	1							3
	日本紅斑熱	0	0	0	2	10	7							19
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0							0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0							0
	マラリア	0	0	0	0	0	0							0
	レジオネラ症	6	1	5	5	9	4							30
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0							0
	小 計	8	1	6	10	21	13	0	0	0	0	0	0	59
五類	アメーバ赤痢	1	2	1	0	2	1							7
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1	2	2	0							5
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	7	3	1	2	1							14
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0							0
	急性脳炎	0	2	2	1	0	1							6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	0							1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	2	3	1	0							11
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	1	1	1							4
	ジアルジア症	0	0	0	0	1	0							1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0							0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0							0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4	7	3	3	1							21
	水痘(入院例)	0	0	0	1	2	1							4
	多剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	0	0	1							1
	破傷風	2	1	0	0	0	0							3
	梅毒	10	12	18	16	18	8							82
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	1	0							2
	百日咳	23	19	9	14	10	9							84
	風しん	0	0	0	0	0	0							0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1	0	0							1
	薬剤耐性アシネトバクター感染症													0
	麻しん	1	0	0	0	0	2							3
	小 計	44	49	43	45	43	26	0	0	0	0	0	0	250
合 計		94	97	85	109	106	84	0	0	0	0	0	0	575

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

※ 「薬剤耐性緑膿菌感染症」が2026年4月6日から「多剤耐性緑膿菌感染症」に名称変更され、全数報告に変更されました。

【類別感染症名】

- 一類： エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
- 二類： 急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
- 三類： コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
- 四類： E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ペネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキーマウンテン紅斑熱
- 五類： アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性弛緩性麻痺、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、多剤耐性緑膿菌感染症、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和8年6月1日～7月21日

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
163	190	101	70	19

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
ダニ類媒介感染症疑い	日本紅斑熱リケッチア	1	2	血液, 皮膚組織	R8. 6月	70代	呉市
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチア	11	14	血液, 痂皮	R8. 6月～7月	40代, 60代～80代	西部, 東部, 東部(福山), 呉市, 福山市
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)疑い	SFTSウイルス	2	2	血液	R8. 6月	80代	東部, 呉市

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況(別紙)

4 五類感染症からの検出状況(急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む)

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻疹(小児)疑い	ヒトヘルペスウイルス6型	1	3	血液, 咽頭, 尿	R8. 6月	9	西部東
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	13	13	鼻咽頭, 咽頭	R8. 6月～7月	2～58	西部東, 東部, 東部(福山)
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)+RSウイルスA型+アデノウイルスNT	1	1	咽頭	R8. 6月	1	東部
手足口病	エンテロウイルスNT	1	1	咽頭	R8. 6月	1	東部
	ライノウイルス/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	咽頭	R8. 7月	1	東部
	コクサッキーウイルスA6型	4	4	咽頭	R8. 6月	2～5	東部
ヘルパンギーナ	RSウイルスA型+コクサッキーウイルスA6型	1	1	咽頭	R8. 6月	1	東部
	エンテロウイルスNT+アデノウイルスNT	1	1	咽頭	R8. 6月	2	東部
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	3	3	咽頭	R8. 7月	10～40	東部
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	1	1	咽頭	R8. 6月	1	東部
	アデノウイルスNT+パラインフルエンザウイルス1型	1	1	咽頭	R8. 6月	3	西部東
	アデノウイルスNT+ライノウイルス	1	1	咽頭	R8. 6月	6	西部東
RSウイルス感染症	アデノウイルスNT+RSウイルスA型	1	1	鼻咽頭	R8. 7月	0	東部(福山)
伝染性紅斑	パレコウイルスNT	1	3	血液, 鼻咽頭, 便	R8. 7月	0	東部(福山)

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和8年6月1日～7月21日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	4	ダニ類媒介感染症疑い(4)
西部(広島)	11	ダニ類媒介感染症疑い(1), 急性呼吸器感染症(ARI)(10)
西部(呉)	0	
西部東	43	麻しん(小児)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(37), 感染性胃腸炎(2), 咽頭結膜熱(1)
東部	85	ダニ類媒介感染症疑い(31), 麻しん(成人)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(37), インフルエンザ [*] (3), 新型コロナウイルス感染症(8), 手足口病(3)
東部(福山)	26	ダニ類媒介感染症疑い(2), 麻しん(小児)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(18), 伝染性紅斑(3)
北部	3	ダニ類媒介感染症疑い(3)
福山市	9	ダニ類媒介感染症疑い(8), その他(肺炎)(1)
呉市	9	E型肝炎(1), ダニ類媒介感染症疑い(6), 麻しん(成人)疑い(2)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（令和8年6月～令和8年7月中旬）

	報告週	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	計
		6/1～6/7	6/8～6/14	6/15～6/21	6/22～6/28	6/29～7/5	7/6～7/12	
検査患者数		14	17	16	16	12	14	89
陽性患者数		11	10	14	11	9	7	62
AH1pdm09型インフルエンザウイルス								0
AH3型インフルエンザウイルス								0
B型インフルエンザウイルス(ヒトA系統)								0
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)		2	1	1	1	1	3	9
RSウイルス A型				1	1	1		3
RSウイルス B型								0
パラインフルエンザウイルス1型			1	1		2	2	6
パラインフルエンザウイルス2型								0
パラインフルエンザウイルス3型		2		1	1		2	6
パラインフルエンザウイルス4型								0
ライノウイルス/エンテロウイルス					1	1		2
ライノウイルス		4	2	3	4			13
エンテロウイルスNT		1				1		2
コクサッキーウイルスA2型				1	1			2
コクサッキーウイルスA6型		1	1	3	2			7
メタニューモウイルス		2	5	3	4	3		17
アデノウイルスNT		1			1	4		6
ヒトコロナウイルスHKU1								0
ヒトコロナウイルスNL63								0
ヒトコロナウイルス229E								0
ヒトコロナウイルスOC43								0

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。